

広島県糖尿病療養指導士認定試験のための糖尿病療養指導自験例の記録

症例番号: 1・2・3・4・5

受付番号(8ケタ):

氏名:

※分かる範囲で数値や薬品名を記入してください、選択肢については○で囲んでください

医療職 | 看護師・准看護師・助産師・保健師・管理栄養士・栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士・作業療法士

1. 症例 ID : () 年齢:()歳 性別: 男・女
 指導期間 : ()年()月()日～()年()月()日(入院・外来・在宅)

2. 療養指導開始時の患者の状態

(1)病型 : 1型・2型・妊娠糖尿病・その他()

(2)罹病期間 : 約()年

(3)嗜好品 : 飲酒 - + 喫煙 - +

(4)体格 : 身長()cm 体重()kg BMI()kg/m²

(5)検査データ : HbA1c()%

(6)合併症 : 網膜症 - + (単純・前増殖・増殖)

併発症 腎症 - + (病期 1・2・3・4・5)

神経障害 - +

動脈硬化症 - + 空欄や○印の囲いが無いのは記入漏れと判断され、再提出となります。わからなければ不明と記入してください。

高血圧症 - +

脂質異常症 - +

3. 療養指導開始時の医師の治療方針

(1)食事療法 : 指示エネルギー ()kcal/日

減塩 - + ()g/日

蛋白制限 - + ()g/日

(2)運動療法 : - + (具体的内容:)

(3)薬物療法 : 経口糖尿病薬 - +

(薬品名:)

: インスリン - +

(薬品名:) 合計単位 単位/日

4. 本症例に行った療養指導

- ①この症例の療養指導上の問題点(あなたの職種から見て) ③主治医やチームの他職種との連携
 ②その問題点への対応 ④あなたの指導による患者さんの変化

①仕事が忙しく食事でも不規則でブラッシングが不足し、歯周精密検査でも深い(5mm以上)歯周ポケットが多く、HbA1cが7.0%以下にならない原因となっている。

②口腔ケア、特にブラッシングについては、月に一度の当院での指導によりセルフケアを確立するとともに歯周検査を1回/3-4ヶ月行う。

③主治医からの検査データの説明をお願いし、歯周病と糖尿病の重要な関連について説明してもらい、管理栄養士から規則正しい食事摂取の糖尿病治療における重要性を教える。

④歯周病の改善により6ヵ月後HbA1cは6.8%と良好血糖コントロールを維持しており、今後も継続的に多職種と連携を取りながら口腔ケアを行って行く。